

2010年 秋

特別号

あまがすき 通信

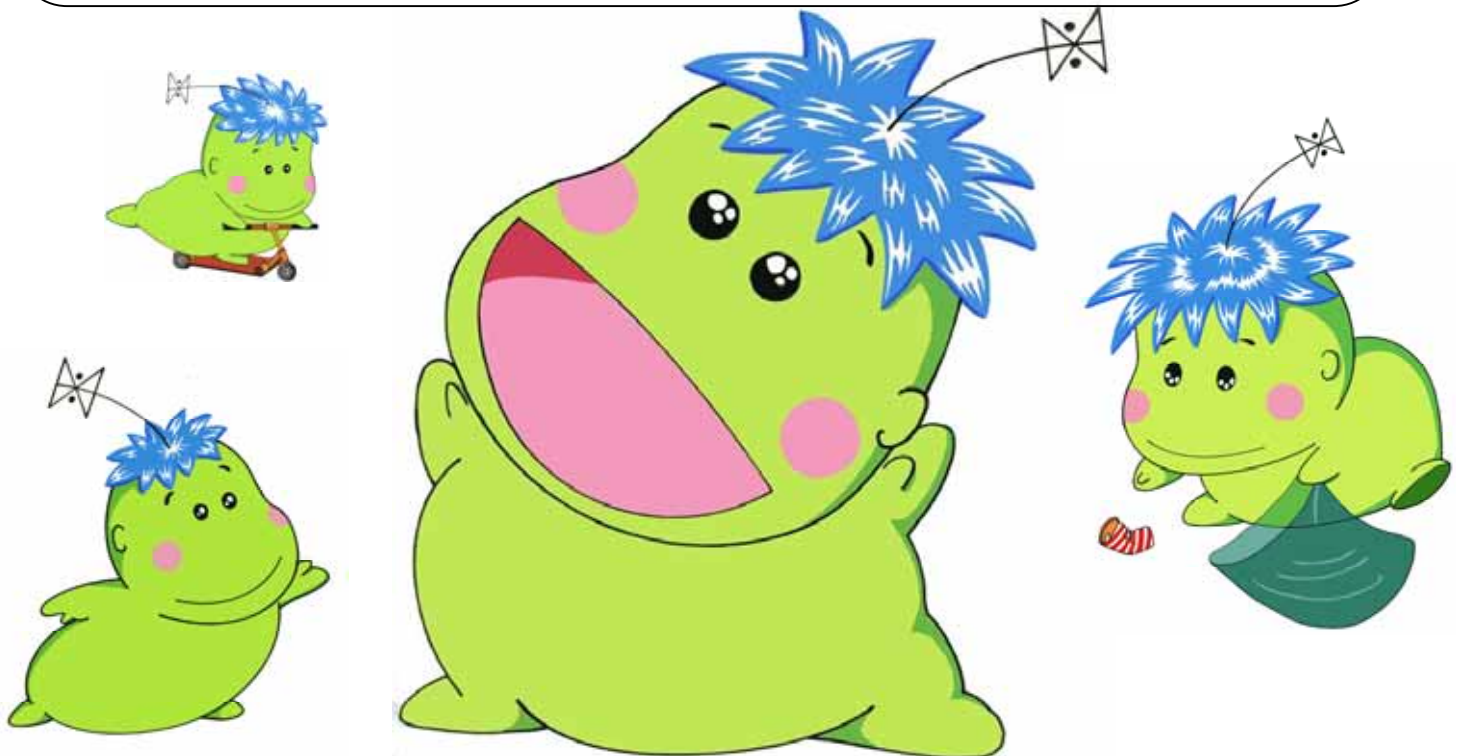
発行：あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会



特集 * 生物多様性とあまがさき



尼崎が大好きな人が集まって、「環境で盛り上がり！」という「あまがさき環境オープンカレッジ」。その実行委員会が発行している「あまがすき通信」に特別号が誕生しました（年2回秋・春予定）。今回の特集は、「生物多様性とあまがさき」。かつて公害のまちといわれた尼崎にも、たくさんの生物がくらしているのです。あなたの知らなかった尼崎に出会えるかも・・・。



エコあま君 © 尼子騷兵衛 & 尼崎JC & NPOあまがさきエコクラブ

あまがさき環境オープンカレッジって？

学び合い・伝え合い・育ち合うを合言葉に“環境と共生するまち・あまがさき”を一緒に作っていきましょう！
を目指す、誰でも参加できる学びの場です。

尼崎をこよなく愛する人ならだれでも！

まちじゅうがキャンパス！

学ぶ・調べる・育てる・楽しむ！

出会いがあり、仲間がいる！

あなたもこんなあまがさき環境オープンカレッジに参加してみませんか？





生物多様性を話し合う国際会議

「COP10」って？

さまざまな生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するため、生物多様性条約が約190カ国で結ばれています。これらの国々が集まる10回目の会議「COP10」が今年10月、名古屋で開催されました。「COP (Conference of the Parties)」とは、国際条約を結んだ国々が集まる会議（生物多様性条約第10回締約国会議 通称：国連地球いきもの会議）のことです。

開催期間：2010年10月11日（月・祝）～29日（金）

この地球上には、人間だけではなく、動物や植物などいろいろな種類の生き物が一緒に暮らしています。たくさんの生き物がつながりあって生きていることを「生物多様性」といいます。

私たちの暮らしも、さまざまな生き物の恵みに支えられており、私たちにとって「生物多様性」はなくてはならないものなのです。しかし、今、たくさんの生き物が生きていくことができなくなっています。こうした原因のほとんどが、開発や乱獲、外来種の持ち込みなど人間の活動にあるといわれています。

この会議では、生き物たちが、つながり支えあい生きていけるように、みんなで自然や生物を守っていくための方策などが話し合われます。

「COP10 支援実行委員会公式ウェブサイト (<http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/>)」から引用

生物多様性とレッドデータブック

「レッドデータブック」って？

レッドデータブックとは、絶滅のおそれのある野生生物について、その生息状況等をまとめた資料のことです。

生物多様性の保全、野生生物の保全のためには、絶滅のおそれのある種を把握する必要があります。そこで、1966年に国際自然保護連合（IUCN）が、世界的に絶滅のおそれがある野生生物の現状を明らかにするために編集・発行したのが「レッドデータブック」のはじまりです。その後世界各国で国内版レッドデータブックが作成され、日本でも、環境省が日本の希少な生き物について生息状況等を取りまとめた日本版レッドデータブックを作成しています。

*兵庫県版レッドデータブック

野生生物の生息状況は地域によって様々です。そのため、地域レベルでの生物多様性保全のためには、地域レベルの情報が必要となります。兵庫県でも「兵庫県版レッドデータブック」が作成され、販売されています。

「自然が少ない」と言われる尼崎市ですが、実はこの兵庫県版レッドデータブックに「猪名川公園」と「猪名寺廃寺跡」のエノキ・ムクノキ群落が掲載されています。



尼崎に残されたこの貴重な自然、大切にしていきたいですね。

特集*生物多様性とあまがさき



猪名川自然林と生き物たち



かつて、猪名川沿いにはエノキ、ムクノキを主体にした河川林が続いていました。しかし、開発や河川改修などで人の手が入ることによって、ほとんど破壊され消滅してしまいました。

猪名川自然林も、1963～69年の河川改修工事で取り壊されることになっていましたが、「身近な自然を守ろう」という市民や子ども達の声に尼崎市が応え、一部が残されることになりました。

エノキにはタマムシやゴマダラチョウ、テングチョウが集まり、アキニレの樹液にはクワガタムシやカブトムシが姿を見せます。不思議な形をしたナナフシも見られます。

キツツキの仲間のコゲラが木々の幹を歩き、猪名川公園の利権池ではカワセミが美しい姿を見せてくれます。ムクノキの実には、さまざまな野鳥が集まってきます。

生き物の豊かな猪名川自然林も、河川改修によって川から切り離されたことによって本来の河川林としての姿を失いつつあります。クスノキやアラカシなどの常緑樹が繁り、公園などに植えられた外来植物であるトウネズミモチが繁殖し、暗い森になると同時に下草もなくなり、生き物の種類も減少していました。

自然と文化の森協会は、生き物の豊かな河川林としての猪名川自然林を守ろうと、尼崎市と共にトウネズミモチや常緑樹の間伐を進めています。「生物多様性」の大切さが叫ばれている今、尼崎という都市の中に豊かな生き物の棲める場所を守る取り組みをさらに進めていきたいと思っています。

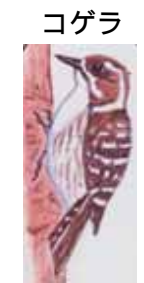
アクセス：園田駅 北へ徒歩15分、市バス椎堂下車東へ5分



タマムシ



ゴマダラチョウ



コゲラ

自然と文化の森協会 福本 吉雄

尼崎 21 世紀の森構想と生物多様性の取り組み



尼崎 21 世紀の森づくり協議会 森部会長 黒田光枝

平成14年に尼崎南部（43号線以南）の臨海地域の活性化と自然再生の取り組みとして「人と水と森との新しい環境創造のまちづくり」尼崎21世紀の森構想がまとめられました。

森構想のエリアは、かつては阪神工業地帯の一部として経済の発展を担った地域です。しかし、経済の低迷にともなう地域活力の低下と深刻な環境の悪化を経験したため、その後は、魅力と活力あるまちづくりと多様な自然環境の再生、都市と自然との共生、身近に自然を感じる都市づくりをめざしています。私たちは、市民の身近な場所で緑化を進めることで、緑と花のネットワークを形成し、昆虫や鳥など多様な生物の生息できる場所づくりを広げて生きたいと思っています。また、人にとって緑が心地よいものであることを伝え、身近な環境への関心を深めることで豊かな環境づくりへのステップとなればと思っています。森構想のエリアでは、少しずつですが確実に緑が増え、トンボや蝶なども日常的に姿をみられるようになりました。私たちと協力して緑化を進めてくださっている尼崎鉄工団地では今年から養蜂をはじめました。沿岸部の工場地帯での養蜂は大変めずらしいと市民のみなさんにも好評です。春から夏にかけて尼崎南部を元気に飛び回って蜂蜜をたくさん集めてくれました。今後とも六甲山系と武庫川、猪名川水系の生物多様性に配慮した自然再生を実現することで、生物多様性の保全、さらには人と自然の共生、尼崎の歴史と文化を踏まえた快適な地域づくりを市民が主体となって進めていきたいと思っています。

まちじゅうキャンパス！

あまがさき環境オープンカレッジは、**まちじゅう**が学びの場です。市内には環境に関する施設や学校があり、環境をテーマに活動する人たちがいます。身近なところから楽しく学び、調べ、育てましょう！

西武庫公園ホテルの会



お店探検隊



海の生き物観察



尼崎21世紀の森づくり協議会

省エネ実験



親子エコクッキング



ろくひ六桶



エコあまフェスタ



さぼくがおか佐璞丘



自然と文化の森協会



夏休みクラフト教室

農業公園でヒメボタル鑑賞



ヒメボタル発見！



開校記念交流会 どんな講座しようか？



ソーラーメロディーハウス作り



春期講座を行った場所と秋期講座を行う場所などから選択。



フェニックス埋立地

地域と連携し、持続可能な社会を目指します！

大阪大学SDオンサイト研究センター

クリーンセンター



成良中 屋上緑化で有名！

カラス調査の講座をします！

環境学園

日亜物産

成文小



ビオトープを修復

労働福祉会館

尼崎市役所
ルームエコクラブ

女性センターレピエ

さんさんタウン

ビオトープ作成中！

潮小



打ち水大作戦

武庫公民館

コープ武庫之荘店

田能農業公園

猪名川自然林

西武庫公園



ボブのあまチャリ日記 ~ オンサイトセンターの巻 ~



あまがさき環境オープンカレッジ開校記念交流会のときに、同じ趣味の人でグループ分けをした。自転車というキーワードでグループができ、そこに「やまさん」という人がいた。なかなか気さくな人で、話が弾んだ。交流会が終わって、事務局の「なべっち」から「やまさん」は大阪大学の先生だと聞いた。「ええっ！そんな人には見えなかった。(笑)」と思わず言ってしまった。「なんで阪大の先生が尼崎なん？」ときいたら『オンサイトセンター』があるからです。」ということであった。正式名は「大阪大学サステナビリティ・デザイン・オンサイト研究センター。」

今日はそこまで自転車で行く。「やまさん」にはアポイントを入れてある。大庄地区の町おこしに尽力している「ビリー」にも声をかけて現地集合としてある。西武庫公園から武庫川沿いに南下するコース。初秋のいい天気～。公園から堤防の坂を登る。パーっと視界が開けて、甲山から六甲連山が一望できる。気分もパーっと明るくなってくる。海に向かって下り坂になっているのでペダルも軽くスイスイ進む。自転車は前にしか進まない。乗っていると自然と心も前向きになってくるから不思議である。2号線を越え、阪神武庫川駅の脇を通過して、43号線の巨大な橋の下をくぐる。目指すオンサイトセンターはパナソニックの巨大な工場の近くにあった。ビリーと携帯で連絡を取り、オンサイトセンターに到着。「やまさん」の歓待を受ける。また楽しからずや！オンサイトセンターは2007年に開設され、地元が開かれた研究機関として、小学生対象に環境セミナーなども実施している。あまがさき環境オープンカレッジとしても大いに連携させていただきたいとお願いした。近い将来、この研究所で環境に関する市民の自主的な講座が開催されたら素敵やねとビリーと話し合った。やまさんもよるこんで受け入れますよ！とのことだった。21世紀の森とあわせて、尼崎の南西部は環境の世紀における注目のスポットである。次回は、「フェニックス埋立地」に行く予定で～。



いわっちの

エコあま探訪 (日亜物産株 編)



みなさん、尼崎市道意町にある日亜物産株式会社をご存知ですか？

テレビなどでも何度か取り上げられているので、すでにご存知の方もいると思いますが、フェンスなどで使用される線材製品を製造する工場であった建物を一部利用し、天候や四季に左右されない施設で、リーフレタスを作っている会社です。

あまがさき環境オープンカレッジでは、8月2日にエコあまキッズ～野菜工場見学会～として市内に住む親子22人と一緒に、日亜物産を見学に行きました。日亜物産のリーフレタスは無農薬で栽培され、一年を通して安定供給ができ、えぐみや苦味が少なく食べやすいそうです。

野菜工場見学会の最後に試食させていただきましたが、子どもたちは「本当に苦味が少なくおいしい」と喜んでいました。

「都市で消費する野菜は都市でつくる」という考え方から尼崎市内のスーパーに日亜物産のリーフレタスは販売されているので、みなさんも是非一度探してみてください。



あまがさき環境オープンカレッジ

2010年10月現在の情報です。
これから、どんどん増やしていきますよ

2010年度 秋期カリキュラム

(日時・内容等変更になる場合もございます)

日程	タイトル	分類	*主催	*共催	*連携
10月23日(土)	あまがさき環境塾(1)尼崎の歴史と環境	くらし			
10月23日(土)	潮小学校ビオトープ見学会	自然			
10月24日(日)	実りの秋と遊ぼう	自然			
10月30日(土)	あまがさき環境塾(2)尼崎の現在の環境	くらし			
11月3日(祝)	秋のエコハイキング	自然			
11月7日(日)	ひっつきむしで遊ぼう	自然			
11月9日(火)	農産物ミネラルと食の安全	くらし			
11月13日(土)	あまがさき環境塾(3)尼崎の自然環境と生物多様性	自然			
11月16日(火)	園田の歴史を学ぼう	文化			
11月21日(日)	自然と文化の森収穫祭	くらし			
11月23日(祝)	秋のあまチャリ エコサイクリング	自然			
11月28日(日)	あまがさき環境塾(4)地球温暖化と異常気象	自然			
12月4日(土)	成良中学校屋上緑化見学会	自然			
12月5日(日)	尼崎の森づくり体験講座	自然			
12月5日(日)	歴史ウォッチング 猪名寺を歩こう	文化			
12月11日(土)	あまがさき環境塾(5)協働型環境活動	くらし			
12月18日(土)	親子で学ぼう! 楽しくエコロジー	くらし			
12月21日(火)	園田の自然を楽しもう	自然			
1月15日(土)	ニコニコキッズ 使える!役に立つ環境工作	くらし			
1月29日(土)	環境バスツアー	自然			
1月29日(土)	エコクッキング「野菜たっぷり!使いきりレシピ」	くらし			
2月5日(土)	猪名川・藻川クリーン作戦	くらし			
2月12日(土)	鳥と遊ぼう	自然			
2月19日(土)	映画「未来の食卓」上映会	くらし			
未定	カラス観察会	自然			
未定	生物多様性に向けた都市緑化	自然			
未定	生物多様性に向けた都市緑化	自然			
未定	日常の生活から環境リテラシーを身につける	くらし			

*主催講座・・・あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会が企画運営する講座。

*共催講座・・・応募のあった講座の中から、実行委員会が選定。会場費・講師謝金などを支援。

*連携講座・・・市民・企業・学校・行政が主催する講座で、「あまがさき通信」などで情報を提供。



エコあま君

尼崎のエコスケッチ

～心ときめくものを見つけたいスケッチ旅～

六樋について

中世末から近世初期にかけて、武庫川東岸の西昆陽村に上流から順に野間樋、生島樋、武庫樋、その下流の常松村に水堂樋、常吉村に守部樋、さらに西武庫村に大島樋という6個の武庫川からの取水樋があり、それぞれ農業用水として利用されていました。

しかし、水争いが絶えず、1924年の武庫川改修に伴い6個の取水樋は廃止され、かつての西昆陽村に取水口が新設されました。この新設樋門から旧来の六樋へと流されるようになりました。

現在も、西武庫公園内やその周辺を清流が流れ、毎年、初夏にはゲンジボタルがみられます。



画・文 ままりん

編集委員 ひとりごと



超忙しい編集委員たちが、じっくり(?)と、心をこめて(これはホント)つくりました!



伊丹市民ですが、「あまが好き」な自転車男です!

何か環境に心ときめくものを見つけたい気持で...



森林破壊が進んでいます。禁煙するも効果なし。ボブさ~ん、何で?



「楽しみながら」をモットーにつくっていただけたいなあ~。

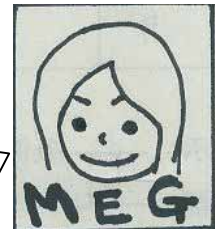


生き物大好き! 尼崎の身近な自然を見つけるゾ!!

気軽にご参加ください。楽しいあまがさき環境オープンカレッジです。



仕事も「あまが好き」もまだまだ新人ですが、すてきな先輩方を目標に頑張ります



尼崎が好き!



あまがさき環境オープンカレッジ事務局

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23-1
 尼崎市環境政策課 ルーム・エコクラブ内(尼崎市役所本庁舎中館9階)
 電話 6489-6302 FAX 6489-6300
 メール ama-kankyo-kyoiku@city.amagasaki.hyogo.jp
 ホームページ <http://aoce-amasuki.jp>